

第三セクターの経営状況

町には4つの第三セクターがあり、それぞれの役割を担いながら「活力ある町くずまき」の情報発信や雇用拡大による地域経済の活性化に貢献しています。4つの第三セクターについて、平成19年度の経営状況をお知らせします。

社団法人葛巻町畜産開発公社

昭和51年3月30日設立。北上山系開発事業で整備された牧場管理や地域酪農経営の機能分担、後継者育成などを目的に設立されました。畜産部門のほか、乳製品の製造販売、レストラン・宿泊施設の運営、パンの製造、体験学習受け入れなど14事業を展開しています。3万人が来場するくずまき高原牧場まつり、バイオマス発電など複数の新エネルギー施設の稼働その他先進的な取り組みを進めています。このような公共牧場としての実績が評価され、平成17年に「畜産大賞」、20年には「日本農業大賞」を受賞しました。



平成19年度決算状況

総収入	10億8,663万円
経常損益	538万円
総資産	7億8,703万円
剰余金	1億4,697万円

夏期最大飼養頭数 2,640頭

□資本金	2億1,300万円
□行政出資	1億8,900万円
□出資割合	88.7%
□借入金残高	3億4,131万円
□役員等	役員17人、運営委員14人、職員（準職員、パート含む）94人

葛巻高原食品加工株式会社

昭和61年2月設立。山野に自生する山ブドウ、山菜などを加工し、付加価値を高めて出荷することを目的に設立されました。自社管理の圃場と町内外の栽培農家から仕入れた山ブドウなどを原料に、果実酒やジュースの製造販売、いわて体験交流施設「森のこだま館」の運営を行っています。新製品の開発、国産ワインコンクール入賞、県内外でのワインパーティ開催など業績の向上に努めています。

また、昨年世界でも初の山ブドウを利用したブランデーを醸造し、販売をはじめています。



平成19年度決算状況

総収入	3億8,305万円
経常損益	485万円
総資産	3億6,764万円
剰余金	6,072万円

□資本金	9,800万円
□行政出資	4,000万円
□出資割合	40.8%
□借入金残高	1億4,341万円
□役員等	役員7人、職員（準社員含む）28人

生産数量 果実酒 184 キロリットル(720mlビン換算で約26万本)、ジュース 65 キロリットル

株式会社グリーンテージくずまき

平成5年1月設立。都市と農村との交流促進による交流人口の増大と若者定住を促進するために整備されたふれあい宿舎グリーンテージの経営にあたる会社として設立されました。平成14年に増設工事を行い、宿泊規模を80人に増員、また、平成18年4月からは指定管理者として指定を受け、同施設を管理し、宿泊、レストラン、売店などの経営を行っています。年間を通じ、さまざまなイベントを企画し集客をはかっています。



平成19年度決算状況

総収入	1億5,117万円
経常損益	29万円
総資産	3,515万円
剰余金	141万円

利用者数 57,347人

□資本金	2,200万円
□町出資額	1,985万円
□出資割合	90.2%
□借入金残高	なし
□役員等	役員6人、職員（臨時含む）19人

エコ・ワールドくずまき風力発電株式会社

平成10年6月1日設立。まちづくりの理念である「自然と人間との共生」を踏まえ、風力発電の経済的採算性、稼働率、将来性や電力の販売、地域で活用するための調査研究を目的に設立しました。袖山高原の風力発電機3基の管理運営と発電事業を行っています。



平成19年度決算状況

総収入	1,086万円
経常損益	△1,251万円
総資産	3,102万円
累積欠損金	1億6,723万円

発電実績 1,353,223KWh

□資本金	1,000万円
□町出資額	250万円
□出資割合	25%
□借入金残高	1億7,660万円
□役員等	役員7人、社員なし

用語説明

【第三セクター】

国・地方公共団体と市民・事業者などが、お金を出し合い、設立される事業体。行政部門の第一セクター（公共セクター）と民間部門の第二セクター（民間セクター）の両者で行うことから第三セクターといわれます。

【当期利益】

純利益・当期純利益とも呼ばれ、ある会計年度内で最終的に法人に残るお金。ここでは平成19年度内（平成19年4月1日～平成20年3月31日）の売上額のことで。

【未処分利益】

当期未処分利益のことであり、前期までの累積赤字・黒字に当期利益を加減したものの。例えば前期決算時に100万円の累積赤字があり、当期利益で120万円黒字が出た場合、未処分利益は20万円となり、これを翌年に繰り越します。